

中国語における「重ね型」表現の構造形式及び語用に関する考察と研究  
 —— 動詞の「重ね型」をめぐって (その2)

A Consideration and Study about the Type of “Repetitive Form”  
 and its Usage in Modern Chinese  
 ~ Focus on “Repetitive Form” of Verb (Part 2) ~

于 克 勤  
 Yu Keqin

0. はじめに

前稿『中国語における「重ね型」表現の構造形式及び語用に関する考察と研究——動詞の「重ね型」をめぐって (その1)』を述べたように、動詞の「重ね型」の表す基本的な意味は“動作量・時間量の少ないことを表す”とされるとともに、その動作の実現される時間によって、動詞の「重ね型」の表す意味や用法に明確に異なった七つのタイプの表現がみられる。本論文では、前稿に引き続き、動詞の「重ね型」表現の幾つかの構造形式によって生ずる語用面のそれぞれの差異現象を詳しく分析してみることにする。

なお、本論文では用例を分りしやすくするために、次のような符号を用いて表記する。

主語 —— 述語・動詞 ▲▲▲、▲▲▲▲  
 目的語・名詞 —— 重要部分 . . . . .

I. 動詞の「AA」型と「A-A」型の語用的比較

一般的に言えば、ふつう文の中では動詞の「AA」型と「A-A」型にすることによって表される意味がほとんどの場合は同じである。すなわち、重ねられた動詞の間に数詞“一”をはさむか否かは、どちらでもよく、その意味は変わらないものである。次に幾つかの実例をあげてみよう。例えば、

- (1) 那是白天做大梦! 哼, 美得你! 可是, 现在……(感慨系之) 咳, ……白露, 你是个聪明人, 你想想结婚有什么意思? 有什么意思? (曹禺《日出》)
- (2) 周朴园 好, 你先下去。让我想一想。(曹禺《雷雨》)
- (3) 鲁 贵 为什么? 这次太太叫你来, 我告诉你, 就许有点什么很要紧的事跟你谈谈。(曹禺《雷雨》)
- (4) 周朴园 那更好了。那么我们可以明明白白地谈一谈。(曹禺《雷雨》)
- (5) 周 冲 我正想见你呢。你, 你愿意——跟我拉拉手么?(把右手伸出去)(曹禺《雷雨》)

- (6) 周冲 好,我走!(向大海)再见,我原谅你,(温和地)我还是愿意做你的朋友。  
(伸出手来)你愿意同我拉一拉手么?(曹禺《雷雨》)
- (7) 这个战士,怎么这么黑呀?我很纳闷。我们跟这个战士打了个招呼,想进洞去看看。刚一进去,里面黑得甚么也看不见,只闻着有一股松木的香味。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (8) 周繁漪 冲儿,不用了。——(转头向四凤)你到厨房去看一看,问问给老爷做的素菜都做完了没有?(曹禺《雷雨》)

以上みたように、例文(1)の中ではもし、“你想想结婚有什么意思?”が“你想想结婚有什么意思?”に変わっても意味が変わらない。同じように、例文(2)の中では“让我想想”を“让我想想”に変換してもさしつかえない。次に、例文(3)の“谈谈”を“谈一谈”に、例文(4)の“谈一谈”を“谈谈”に、例文(5)の“跟我拉拉手”を“跟我拉一拉手”に、例文(6)の“同我拉一拉手”を“同我拉拉手”に、また例文(7)の“想进洞去看看”を“想进洞去看一看”に、例文(8)の“你到厨房去看一看,问问给老爷做的素菜都做完了没有?”を“你到厨房去看看,问一问给老爷做的素菜都做完了没有?”に変えてもその文法上の問題はなく、意味も変わらない。

しかし、語用の面から考えて見ると、あらゆる動詞の「AA」型と「A-A」型が自由に変換できるわけではない。すなわち、場合によってそれぞれに異なる。以下、二つの種類を大きく分け、両者の違いについて考察してみた。

### I-1 言語環境を通してみられる差異

周知の通り、日常生活の中では動作者の言語表現が一定の文法に則って、また一定の言語環境によって伝達されるはずである。動詞の「重ね型」の表現も同じものである。次に、動詞の「AA」型と「A-A」型において両者が具体的なコンテキスト(言語環境・文脈)や共起する成分の影響によって生ずる、異なった様態について何点かにまとめてみよう。

I-1-1 動詞の「AA」型は表す動作行為が一般的に重大なものではなく、気軽・自由・随意的な場合である。一方、動詞の「A-A」型の場合には表す動作行為が厳粛・丁寧・真面目、また真剣な態度・意図などの場合によく用いられる。以下の実例をみながら比較してみよう。

- (9) 陈白露 不做什么!随便问问。(曹禺《日出》)
- (10) 周繁漪 (向门内)四凤,你先把那两套也拿出来,问问老爷要哪一件。(里面答应)哦,(吐出一口气,向鲁妈)这就是四凤的妈吧?叫你久等了。(曹禺《雷雨》)
- (11) 姑甲 (自己以为明白地)所以周先生每次来看他太太来,总要问一问楼下的。——我想,过一会儿周先生会下楼来见她来的。(曹禺《雷雨》)
- (12) 吕千秋 你看我不过说说而已,没有钱买材料,是不是?(老舍《归去来兮》)
- (13) 曾文清 哎,他也不过是说说罢了。(忽然口气里带着忧怨)他也是跟我一样:我不说话,一辈子没有做什么;他吵得凶,一辈子也没有做什么。(曹禺《北京人》)
- (14) 事后,他对人说:“这是我戴笃伯平生最快乐的一天!”这里,我还想说一说那些女青年们的情形。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (15) (呆了半天)石清,不不——这不算什么。不算多事。(不安地笑着)互相监督

- 也是好的。你请坐，你请坐，我们可以谈谈。(曹禺《日出》)
- (16) 我把它交给你，没事的时候，你可以跟喝茶的人们当个笑话谈谈，你说呀：当初有那么一个不知好歹的秦某人，爱办实业。办了几十年，临完他只由工厂的土堆里捡回来这么点小东西！你应当劝告大家，有钱哪，就该吃喝嫖赌，胡作非为，可千万别干好事！（老舍《茶馆》）
- (17) 吕千秋（想了想）好，我不走，我等着他！我跟他谈一谈作正气歌的计划，他一定会帮助我！他是个好孩子！（老舍《归去来兮》）
- (18) 知道。今天他有空也请他过来玩玩。(曹禺《日出》)
- (19) 慷方 做着玩玩，我也是学着做。(曹禺《北京人》)
- (20) 你在干什么？你出来跟大家玩玩好不好？(曹禺《日出》)
- (21) 吕千秋 看一看！看一看！看，那个山峰多么有趣，好像在雾里思想着什么呢！（老舍《归去来兮》）
- (22) 吕以美（接电话）啊，我看一看。(到门口)乔叔叔，电话！（老舍《归去来兮》）
- (23) 周朴园 不，你不要走。我有话跟你说。(向周冲)你告诉她，说克大夫是个有名的脑病专家，我在德国认识的。来了，叫她一定看一看，听见了没有？(曹禺《雷雨》)

例文(9)、(10)中の“问问”の部分には二例とも動作者の“随意的態度”という含意が表現されており、それがもし“问一问”に変わったら二例の間の差異、微妙的な不自然さがすぐに感じられる。一方、例文(11)では“……所以周先生每次来看他太太来，总要问一问楼下的……”の部分を見ると、動作者(周先生)が、“……每次……总要……问一问……”という表現によって、周先生の“真剣な態度”がよくわかるが、それをもし“一”を省略して、“……总要问问楼下的……”とすることは不適切というわけである。

また、例文(12)、(13)中の“说说”の部分には二例とも動作者の随意的態度という含意が表現されており、それぞれの“说一说”に自由に変換することは不可である。ところが、例文(14)では“……我还想说一说那些女青年的情形……”という表現によって、動作者の“真面目さ・真剣な態度”がよくみられたが、そうした意味でもし“一”を省略して“……我还说说那些女青年的情形……”とすることはもとの“真剣な態度”をマイナスのイメージに表すことになり、当然不適切だと感じさせられる。同じように、例文(15)、(16)中の“谈谈”の部分では、二例とも動作者の“随意的態度”というものが表現され、それぞれもし“谈一谈”に変えたらかなり不自然な表現になる。一方、例文(17)では動作者(吕千秋氏)が真剣に考えてから相手に“……我跟他谈一谈作正气歌的计划……”と言った。もし、文の中の“谈一谈”を“谈谈”に変えたら、もちろん不適切だと感じされる。

ちなみに、例文(18)、(19)、(20)中の“玩玩”の部分では三例とも、動作者の“随意的態度”というものがよく分かる。一方、例文(21)、(22)、(23)中の“看一看”の部分からみると、三例とも“一”があることにより強調の意味が加わり、真剣な意図を表すことができるようになる。

さらに、以下の例文(24)～(29)までの各例文の中では、動詞の「A-A」型に表現された動作者の荘厳さ・真面目さ・丁寧さなどがよく窺える。

- (24) 乔 绅 仁山, 拾起来, 数一数, 你欠我快到一万, 三千就能了账吗? 不还清, 我会通缉捉拿你! (老舍《归去来兮》)
- (25) 你二弟回来, 咱们赶紧给他办喜事, 得了小孩, 好继续香烟哪! 你要好好的听我的话。你想, 我还得托你劝一劝以美呢! (老舍《归去来兮》)
- (26) 吕千秋 他们有钱, 我没钱, 怎么不可以借来用一用呢? 钱又不是什么生命或天才, 不能借给别人! (老舍《归去来兮》)
- (27) 我这里想提一提一个有意义的数字。在这个军, 作战的一年半以来, 包括郭恩志等许多志愿军的英雄在内, 全军涌现了四百一十五个立功单位, 和八千多个人民功臣。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (28) 战士们最后一次扫净了院子, 挑满了水缸, 拍一拍身上的尘土, 打好了行囊。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (29) 地雷扫清了, 这时我的伙计又在电话里嚷起来: ‘同志们呀! 这个地方蹲得时间不短啦, 往前挤一挤呀!’ 我们师长有个脾气, 爱把挤出来的地方种上棒子作纪念, 战士知道这个。(巍巍《谁是最可爱的人》)

もちろん、以上の各例文の動詞「A一A」型の表現は「AA」型に置き換えしてはいけなはずである。すなわち、各例文のポイントからみると、

- 例(24)の“数一数, 你欠我快到一万” → “数数, 你欠我快到一万” (不可)
- 例(25)の“我还得托你劝一劝以美呢” → “我还得托你劝劝以美呢” (不可)
- 例(26)の“怎么不可以借来用一用呢” → “怎么不可以借来用用呢” (不可)
- 例(27)の“我这里想提一提一个有意义的数字”  
→ “我这里想提提一个有意义的数字” (不可)
- 例(28)の“挑满了水缸, 拍一拍身上的尘土”  
→ “挑满了水缸, 拍拍身上的尘土” (不可)
- 例(29)の“往前挤一挤呀” → “往前挤挤呀” (不可)

I—1—2 ある場合には表現された“不肯定”というコンテクスト(言語環境・文脈)の中では、動詞の「AA」式の表現がよく使われる。例えば次の二例をみてみよう。

- (30) 吴祥子 对啦! 坐下谈谈吧! 你们是要命呢? 还是要现大洋? (老舍《茶馆》)
- (31) 我开玩笑地说: “你坚决奉陪, 我倒要听听你的陪法呢!” (巍巍《谁是最可爱的人》)

例文(30)の中では、君達(你们)は“是要命呢?”ですか?それとも“还是要现大洋”ですか? その両者の中から一つ選ぶはずである。もちろん現時点では“坐下谈谈吧”ということによって、“不肯定”の意味を示す。また、例文(31)の文頭には“我开玩笑地说”というのはこの中国語を訳すれば、冗談の雰囲気の中かで言うことを示す。だが、次の“我倒要听听你的陪法呢”という表現によって“不肯定”の意味を表すのは当然なことである。

ところが、ある場合には“不肯定”という意味を表すときに、動詞の「AA」型の直後に助詞“看”をつけることもでき、更に“不肯定”の意味を鮮明にさせ、すなわち、動詞の「AA看」

という形になる。次の例文(32)～(37)までの各例文ではその通りである。

- (32) 巡警 (接票子)我给你说说看,行不行可不保准!(老舍《茶馆》)
- (33) 周朴园 (想自己的儿子亲近他,可亲地)你今天早上说要拿你的学费帮一个人,你说说看,我也许答应你。(曹禺《雷雨》)
- (34) 周朴园 也许,也许你弄错了,不过你不妨说说看。(曹禺《雷雨》)
- (35) 周蘩漪 (急切地)你认识的人没有一个像她的么?(略停)你想想看,往远处想。(曹禺《雷雨》)
- (36) 无论政权在谁手里,咱们总是高等的人!想想看,你不过是个穷画家的女儿,怎可以放弃作我的媳妇的机会。金钱,势力,快乐,汽车,都等着你呢!你又不是个傻子,还能看不出来?(老舍《归去来兮》)
- (37) 茶房 我是包艾,不是洋奴,包艾,会说不会?学学看!(老舍《归去来兮》)

もちろん、以上の各例文の中では“说说看”を“说一看看”に、“想想看”を“想一看看”とは言えない。また“学学看”を“学一看看”とは言えない。

一方、逆に表現された“肯定”というコンテキストの中では動詞の「A一A」型の表現がよくみられる。そのとき、もし“一”を省略して動詞の「AA」型に変えてはいけない。例えば、

- (38) 鲁四凤 (拿着药碗)您忍一忍喝了吧。还是苦药能够治病。(曹禺《雷雨》)
- (39) 周蘩漪 这一点我很明白。我知道你是个知书达礼的人,一见面,彼此都觉得性情是直爽的,所以我不妨把请你来的原因现在跟你说一说。(曹禺《雷雨》)
- (40) 鲁贵 (不理她,向周冲)谢谢您老远跑一趟。我先给您买点鲜货吃,您同四凤在屋子里坐一坐,我失陪了。(曹禺《雷雨》)
- (41) 说老实话,《日出》末尾方达生说:“我们要做一点事,要同金八拼一拼!”原是个讽刺,这讽刺藏在里面(自然我也许根本没有把它弄显明,不过如果这个吉河德真地依他所说的老实做下去,聪明的读者会料到他会碰着怎样大的钉子)。(曹禺《日出》)

例文(38)では病人が薬を飲むのは当然、必要なので、このコンテキストの中で“忍一忍”という表現によってはもちろん“肯定”の意味を表すはずである。

同じように、例文(39)、(40)、(41)をみると、それぞれの“说一说”、“坐一坐”、“拼一拼”などの表現によって話手が聞き手にそれぞれの“肯定”の意味を伝えているのは当然である。

I—1—3 ある場合には、驚いてうろたえ、心が落ち着かないときに、或いは冷静さを失い、動作が混乱しているときに、動詞の「AA」型の表現がよくみられる。以下の数例はその通りである。

- (42) 又进来了?(停顿,看出她的谎)那我们得见见,我们得把这件事告诉他。(回向门口)你们说,对不对?[门口人声:对,对,我们得见见。(曹禺《日出》)]
- (43) 周萍 (忍耐不下)我要你问问四凤,她知道我这次出去,是离开了家庭,设法脱离了父亲,有机会好跟她结婚的。(曹禺《雷雨》)
- (44) 曾皓 (回头呼唤声音啞哑)等等!叫他们再等等!等等!(颤巍巍转对思懿,

言語失了伦次)你再告诉他们,说钱就来,人就来,钱就拿人来!等等!叫他们再等等!(曹禺《北京人》)

また、事態が切迫していて、心が激する場合には、動詞の「AA」型の表現もよくみられる。次の例がそれである。

- (45) 江 泰 (忽然立起)别,你们等等,一定等等。(曹禺《北京人》)
- (46) 陈奶妈 (以手止住文彩,嘶着声音,匆促地)我不要紧。得啦,姑小姐,您还是到上屋看看老爷子去吧!(曹禺《北京人》)
- (47) 慷 方 (惊吓)姨父!姨父!(扶他靠在沙发上)姨父,你怎么了?姨父!你醒醒!姨父!(曹禺《北京人》)
- (48) 曾思懿 (连忙)是呀,慷妹妹,你要多想想,不要屡次辜负姨父的好意,以后真是耽误了自己——  
曾 皓 (也抢着说)思懿,你让她自己想想。这是她一辈子的事情,答应不答应都在她自己,(假笑)我们最好只做个参谋。慷方,你自己说,你以为如何?(曹禺《北京人》)
- (49) 陈奶妈 (指着)你让他们给我滚蛋!(回头对大奶奶半笑半怒的神色)我真没有见过,可把我气着了。大奶奶,你看看可有堵着门要帐的吗?(转身对张顺又怒冲冲地)你告诉他们,这是曾家大公馆。(曹禺《北京人》)

また、不満・不平をもらす場合、或いは愚痴をこぼすときなどにも、動詞の「AA」型の表現も用いられる。例えば、次のような表現である。

- (50) 江 泰 什么亲戚?(牢骚满腹)亲戚是狗屎!我有钱,我得意的时候,认识我。没有钱,下了台,你看他们那副鬼脸子,(愈想愈恨)混帐!借我的钱买田产的时候,你问问他们记得不记得?我叫他们累得丢了官,下了台,你问问他们知道不知道?昨天我就跟老头通融三千块钱,你看老头——(曹禺《北京人》)
- (51) 曾思懿 (继续她的牢骚)霆儿,你记着,再穷也别学你姑父,有本事饿死也别吃丈人家的饭。看看住在我们家的袁伯伯,到月头给房钱,吃饭给饭钱,再古怪也有人看得起。真是没见过我们这位江姑老爷,屎坑的石头,又臭又硬!(曹禺《北京人》)
- (52) 秦仲义 别人都不理我啦,我来跟你说说:我到天津去了一趟,看看我的工厂!(老舍《茶馆》)

しかし、例外の場合もある。ある場合には使われているコンテキストや共起する成分の影響により動詞の「A-A」型の表現にもみられる。例えば、次の例がそれである。

- (53) 曾 皓 (快慰)啊,老年人心里没有什么。第一就是温饱,其次就是顺心。你看,(又不自觉牢骚起来)他们哪一个是想顺我的心?哪一个不是阴阳怪气?哪一个肯听我的话,肯为着老人家想一想?(望见慷方沉沉低下头去)慷方,你想睡了么?(曹禺《北京人》)

一方、逆に冷静、落ち着き払って慌てない場合には動詞の「A—A」型の表現が非常に多く用いられる。例えば、

- (54) 请你冷静地想一想。
- (55) 乔仁山 大嫂,(喊)你不要再逼我!容我想一想!(老舍《归去来兮》)
- (56) 不晓得老天爷是怎安排的!好吧,你若是尽孝,要不伤了你爸爸的心,请你慢慢想一想吧,是嫁给仁山好呢?还是反抗我好?我静候你的答复!(老舍《归去来兮》)
- (57) 周蘩漪 (向鲁妈)我先把我家里的情形说一说。第一我家里的女人很少。(曹禺《雷雨》)
- (58) 我是多么想说一说,这段神话的创造和它对我们的意义。我们究竟是依靠了甚么能够越战越强,能够打得退、顶得住、战得胜这群恶兽呢?(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (59) 某个连队进行爱国教育的时候,有一个战士站起来说:“报告指导员,我有两句话跟大家说一说吧。”这个战士得到指导员的允许,就走到队前,从口袋里掏出了两封家信,还有一张照片。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (60) 周萍 (眼色向周冲)她病了。(向蘩漪)你跟我上楼去吧!你大概是该歇一歇。(曹禺《雷雨》)
- (61) 周朴园 (愠怒)好,你上楼去吧,我要一个人在这儿歇一歇。  
周蘩漪 不,我要一个人在这儿歇一歇,我要你给我出去。(曹禺《雷雨》)
- (62) 周朴园 你静一静。把脑子放清醒点。你不要以为我的心是死了,你以为一个人做了一件于心不忍的事就会忘了么?你看这些家具都是你从前顶喜欢的东西,多少年我总是留着,为着纪念你。(曹禺《雷雨》)
- (63) 周朴园 (看她关好窗门,忽然觉得她很奇怪)你站一站,(鲁妈停)你——你贵姓?(曹禺《雷雨》)
- (64) 乔仁山 我不知道仙人是什么样子,不过拿吕伯伯和爸爸比一比,我觉得吕伯伯就是仙人!(老舍《归去来兮》)
- (65) 乔莉香 我们俩都知道以美要走。刚才爸爸问我,我实话实说了,爸爸没说我什么,可是要打二哥,说二哥故意放走了以美。你躲一躲吧!(老舍《归去来兮》)
- (66) [姑乙由右边病房进。见姑甲,二人沉静地点一点头,(曹禺《雷雨》)]
- (67) 周朴园 那么,我们就这样解决了。我叫他下来,你看一看他,以后鲁家的人永远不许再到周家来。(曹禺《雷雨》)

以上の諸例文の中での“想—想”、“说—说”、“歇—歇”、“静—静”、“站—站”、“躲—躲”、“点—点”、“看—看”などは、それぞれの“一”を省略して、すなわち“想—想”を“想想”に、“说—说”を“说说”に、“歇—歇”を“歇歇”に、“静—静”を“静静”に、“站—站”を“站站”に、“躲—躲”を“躲躲”に、“点—点”を“点点”に、“看—看”を“看看”などに置き換えることはできない。なぜなら、もし変換したらしばしば強い“不自然さ”が生じるようになるからである。

また、かわいそうに思って情をかける場合には、或いは誠意をもって、ねんごろに頼む場合には、或いは沈痛な気持ちをもち、他人に限りなく忠実で言う場合にも、動詞の「A—A」型の表現がよくみられる。以下、実例を一つずつ挙げよう。

- (68) 鲁四风 (怜惜她的母亲)别多说话了,妈,静一静吧。妈,您在外受了委屈

了，(落泪)从前，您不是这样神魂颠倒的。可怜的妈呀(抱着她)好点了么？(曹禺《雷雨》)

(69) 周蘩漪 (恳求地)萍，这不是不可能的。(乞怜地)萍，你想一想，你就一点——就一点无动于衷么？(曹禺《雷雨》)

(70) 周蘩漪 (沉重的语气)站着。(周萍立住)我希望你明白我刚才说的话，我不是请求你。我盼望你用你的心，想一想，过去我们在这屋子说的，(停，难过)许多，许多的话。一个女子，你记着，不能受两代的欺侮，你可以想一想。(曹禺《雷雨》)

もちろん、以上の各例文の場合にも“静一静”を“静静”に、また“想一想”を“想想”へと自由に書き換えることは不可能である。

I—1—4 日常生活の中では動作者が言葉の緊縮を表現する場合に、動詞の「AA」型の表現が常に用いられるが、ふつう動詞の「A—A」型を使わない。しかし、ふつう「跟+人物」という表現と組み合わせて、「跟+人物+AA」という形はよくみられる。例えば、次の例がそれである。

(71) 我想找潘四爷替他在电影公司找个事。白露，我们是好姊妹，你在四爷面前替我跟他说说，我真有点不好意思再多麻烦他啦。(曹禺《日出》)

(72) 庞四奶奶 (移怒于王利发)王掌柜，过来！你去跟那个老婆子说说！说好了，我送给你一袋子白面！说不好，我砸了你的茶馆！天师，走！（老舍《茶馆》）

(73) 鲁大海 (没有办法)好，你先给我问他一声。我有点旁的事，要先跟他谈谈。(曹禺《雷雨》)

(74) 周朴园 哼，现在一般青年人，跟工人谈谈，说两三句不关痛痒、同情的话，像是一件很时髦的事情！（曹禺《雷雨》）

(75) 是啊，所以我现在要跟你学学，“人情”这两个字究竟怎么讲。(曹禺《日出》)

(76) 你怎么啦？傻孩子，觉得眼睛都挂了灯笼了么？你真不害羞，眼泪是我们女人的事！好了，(如哄小兄弟一样)我的可怜虫，叫我气哭了，嗯？我跟你擦擦，你看，那么大的人，多笑话！不哭了，不哭了！是吧？(曹禺《日出》)

(77) 现在，每天起五更弄一挑子青菜，绕到十点来钟就卖光。凭力气挣饭吃，我的身上更有劲了！什么时候洋人敢再动兵，我姓常的还预备跟他们打打呢！我是旗人，旗人也是中国人哪！您二位怎么样？(老舍《茶馆》)

また、“跟”と同じ意味で“同”という言葉もよく用いられる。次の一例がそれである。

(78) 鲁侍萍 不，不，你别听你爸爸的话。这是人家的东西。你在我身旁跟我多坐一会，回头跟我同——同这位周太太谈谈，比喝什么都强。(曹禺《雷雨》)

## I—2 文の構造を通してみられる差異

ご存知のように、動詞の「AA」型と「A—A」型は文の中ではほとんど同じ文法的機能を果たしている。しかし、文の構造からみると、ある文の中では、両者の表現が占拠された文成分の地位によって機能は異なる。これは文の中で同時に出てくる文成分の関係、また互いに統語構造関係に

よって制約されているわけである。以下、幾つかのタイプの場合を考察してみた。

I—2—1 日常生活の中では動詞の「AA」型と同じように動詞の「AA+O(目的語)」型の表現が広くみられる。次の数例をみてみよう。

- (79) 曾文彩 那么哥哥, 你到我屋里洗洗脸, 睡一会好不好? (曹禺《北京人》)
- (80) 曾思懿 (嘴角又咧下来) 看不出来, 还猜不出来! 我前生没做好事, 今生可要积积德, 我可不想坑人家一辈子。(曹禺《北京人》)
- (81) 吕以美 莉香! 我求求你! 你对乔叔父去说, 教他放了我! 乔叔父喜欢你, 你说话必然有效! (老舍《归去来兮》)
- (82) 乔莉香 您不能去, 爸爸! 您去了, 事情就没法办了! 吕伯伯, 还是您去好, 救救命吧, 吕伯伯, 您去! (老舍《归去来兮》)
- (83) 康顺子 好! 好! 咱们永远在一块儿, 我去挣钱, 你去念书! (稍愣了一会儿) 掌柜的, 当初我在这儿叫人买了去, 咱们总算有缘, 你能不能帮帮忙, 给我找点事作? 我饿死不要紧, 可不能饿死这个无倚无靠的好孩子! (老舍《茶馆》)
- (84) 王利发 我知道! 你既买我的好, 又好去对娘娘表表功! 是吧? [小宋恩子和小吴祥子进来, 都穿着新洋服。(老舍《茶馆》)]
- (85) 吕千秋 仁山, 跟伯伯握握手, 再会! 乔绅, 机器刘也好, 机器张也好, 我全不在乎! 活着, 我就为人们创造点美; 死, 也听其自然, 生死置之度外, 我怕什么呢? (老舍《归去来兮》)
- (86) 我刚跟八爷进来, 到这儿来歇歇腿, 抽口烟, 你们在这儿是要造反, 怎么啦? (曹禺《日出》)
- (87) 鲁大海 好, 你给我问他一声, 说矿上有个工人代表要见见他。(曹禺《雷雨》)
- (88) 周蘩漪 不, 四凤, 开开它。他在外头一去就是两年不回家, 这屋子里的死气他是不知道的。(曹禺《雷雨》)
- (89) 王志成点点头说: “那当然。我的决心早下了。人家很好的同志都为祖国牺牲了, 我们死了, 有甚么关系!” 辛九思马上纠正他说: “哪能死呢, 天塌大家顶, 过河有槎子”。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (90) 他们端着, 象名酒一样珍贵, 自己只喝一小口, 就亲热地传给别人。吃肉的时候, 总是捏起一片, 先瞅瞅它, 然后才轻轻地送进嘴里, 一小口, 一小口地吃着, 象生怕把它一下吃完, 再不能品祖国的味道似的。(魏巍《谁是最可爱的人》)

すでにみてきたように、動詞の「AA+O」型の表現の中ではもし「A+O」が二音節になる場合は一般的に「AA+O」型の中で“一”を「AA」の間に入れることができない。すなわち、「AA+O」型は「A-A+O」型の形にならない。先例の例文からみると、例えば、例(79)の“洗洗脸”は“洗一洗脸”に置き換えることができない。同じように、例(80)～(90)までの各例文の中では、

- 例(80)の“积积德” → “积一积德” (不可)
- 例(81)の“求求你” → “求一求你” (不可)
- 例(82)の“救救命” → “救一救命” (不可)
- 例(83)の“帮帮忙” → “帮一帮忙” (不可)

- 例 (84) の “表表功” → “表一表表功” (不可)  
 例 (85) の “握握手” → “握一握握手” (不可)  
 例 (86) の “歇歇腿” → “歇一歇歇腿” (不可)  
 例 (87) の “见见他” → “见一见见他” (不可)  
 例 (88) の “开开它” → “开一开开它” (不可)  
 例 (89) の “点点头” → “点一点点头” (不可)  
 例 (90) の “瞅瞅它” → “瞅一瞅瞅它” (不可)

ちなみに、もし動詞の「AA+O」型の“O”（目的語を指す）は二音節以上の数になる場合には、「AA+O」型の中で“一”を“AA”の間にはさむことができる。すなわち、動詞の「AA+O」型は「A一A+O」型になることができる。次の数例をみてみよう。

- (91) 鲁大海 我们老远从矿上来，今天我又在您府上大门房里从早上六点钟一直等到现在，我就是要问问董事长，对于我们工人的条件，究竟是允许不允许？（曹禺《雷雨》）
- (92) 小刘麻子 王掌柜，我都替你想好啦！不信，你等着看，明天早上，小丁宝在门口儿歪着头那么一站，马上就进来二百多茶座儿！小丁宝，你听听我的计划，跟你有关系。（老舍《茶馆》）
- (93) 现在家里只有十五块钱，我都拿出来也不够。（抽噎）石清，你得想法子救救我们的孩子。（曹禺《日出》）
- (94) （立起把身边的针线什物往筐箩里收，一面揉揉她的红鼻子）说等吧，也等了一个多月了，愿也许了，香也烧了，还是没音没信，可怜我的清少爷跑出去，就穿了一件薄夹袍——（向外喊）小柱儿！小柱儿！（曹禺《北京人》）
- (95) 李太太，我少陪了。要什么东西，尽管跟他们要，千万不要客气，我得陪陪我的新朋友了。（曹禺《日出》）

以上みたように、例(91)の“问问董事长”という表現は“问一问问董事长”に変えてもかまわない、その意味は同じである。同じように、例(92)の“听听我的计划”という表現は“听一听听我的计划”に置き換えが可能である。また例(93)の“救救我们的孩子”という表現は“救一救救我们的孩子”に置き換えても結構である。もちろん、例(94)の“揉揉她的红鼻子”という表現は“揉一揉揉她的红鼻子”に変えても同じ意味を表す。次の例(95)の“陪陪我的新朋友了”という表現は“陪一陪陪我的新朋友了”に変換してもよい、その意味は同じである。

また、次の例文においては動詞の「AA+O」型によって表された幾つかの動作が随意に連用される用法もよくみられる。その場合には注目される場所は動詞の「AA+O」型の中の“A+O”は二音節に限らずに、すなわち“A+O”の中“O”はその音節の数が無制限でいける。要するに、その場合では、動詞の「AA+O」型+「AA+O」型+…という表現は動詞の「A一A+O」型+「A一A+O」型+…などの形になれないのである。例えば以下の実例をみてみよう。

- (96) 玩鸟的人们，每天在遛够了画眉、黄鸟等之后，要到这里歇歇腿，喝喝茶，并使鸟儿表演歌唱。（老舍《茶馆》）
- (97) 你想吃吃饭，跳跳舞，两个人只要不结婚总是亲亲热热的，一结了婚，哼——（仿

- 佛看见了胡四做没有良心的丈夫的神气，而不由自主地——)说到大天！这件事办不到，胡四说什么都可以，所以，他跟我求婚，我总是不依的。(曹禺《日出》)
- (98) 战士摇摇手，指指肚子，意思是肚痛已经好了。但是小孩子也比划了几下，意思是，你的肚痛好了，咱就一块吃吧。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (99) 曾思懿 (轻蔑地)谁要管你？大家住在一起，也就顾的是这点面子，你真要你那好妹夫姑爷说中了，说你再也出不了门，做不得事，只会在家里抽两口烟，唱会子茶，玩玩鸽子，画画画，恍惚了这一辈子？(曹禺《北京人》)
- (100) 曾思懿 (更惹起她的委屈)我聪明？哼，聪明人也不会在你家里苦待二十年了。我早就该学那些新派的太太们，自己下下馆子，看看戏，把这个家交给儿媳妇管，省得老头一看见我就皱眉头，像欠了他的阎王债似的。(曹禺《北京人》)
- (101) 朝鲜妈妈激动起来，指指孩子，望望我们，不断地感叹着。孩子的姐姐和她母亲争着，抢先述说了下面的故事。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (102) 那个少女抱着的是一个非常可爱的孩子，肥肥胖胖的，睁着两个大眼，不断地望望这个，望望那个，笑眯眯的。我不由得接过他来，抱在怀里，话题也就很自然地落到这个小生命的身上。(巍巍《谁是最可爱的人》)
- (103) 处长清闲的时候，可以来跳跳舞，玩玩牌，喝喝咖啡。天晚了，高兴住下，您就住下。这就算是处长个人的小俱乐部，由我管理，一定要比公馆里更洒脱一点，方便一点，热闹一点！(老舍《茶馆》)
- (104) 当我醒来的时候，天已经亮了。看看洞里空落落的，只剩下我一个人。看看我手里还握着一颗手榴弹。看看四围都是石壁，地上还仿佛有甚么毛茸茸的东西卧过的样子。这是一个狼窝吧，我猜想着，更觉得孤单焦急起来。(巍巍《谁是最可爱的人》)

以上見たように、例(96)の“歇歇腿，喝喝茶”という表現は“歇一歇腿，喝一喝茶”に言えない。もし置き換えればその文の“不自然さ”が生じることになる。同じように、例(97)の“吃吃饭，跳跳舞”という表現は“吃一吃饭，跳一跳舞”に変換してはいけない。また例(98)の“摇摇手，指指肚子”という表現は“摇一摇手，指一指肚子”にすることはできない、次の例(99)の“玩玩鸽子，画画画”という表現は“玩一玩鸽子，画一画画”にはできない、次の例(100)の“下下馆子，看看戏”という表現は“下一下馆子，看一看戏”にはできない、例(101)の“指指孩子，望望我们”という表現は“指一指孩子，望一望我们”にはできない。また例(102)の“望望这个，望望那个”という表現は“望一望这个，望一望那个”に言えない、次の例(103)の“跳跳舞，玩玩牌，喝喝咖啡”という表現はもちろん“跳一跳舞，玩一玩牌，喝一喝咖啡”とはいえない。また例(104)の“看看洞里空落落的，……看看我手里还握着一颗手榴弹。看看四周都是石壁”という表現は当然、“看一看洞里空落落的，……看一看我手里还握着一颗手榴弹。看一看四周都是石壁”に変換してはいけない。

だが、ここまで述べてきたことを一つまとめてみると、やはり動詞の「A一A」型の表現よりも動詞の「AA」型のほうがその「自由さ」、「気軽さ」、「簡潔さ」という差異に敏感に反応しているということである。

I-2-2 一方では、文論の形態(格式)からみると、強調の意味を表すときに、動詞の「重ね型」の「多AA」のタイプがよく用いられる。その場合には重ねた動詞の「AA」の間に“一”を入れることはできない。すなわち、動詞の「多AA」という表現はふつう「多A一A」の形になれない傾向

にある。その理由は“多”と“一”は同じ動詞の「AA」型の中で表現を共にすることができない。次の実例を挙げよう。

- (105) 是啊，所以无妨你先在我这里多学学，过两天，你就会了的。好了，你愿意不愿意跟我再谈一两天？（曹禺《日出》）
- (106) 吕千秋（左臂下夹着许多画，右手拄竹杖，缓缓而来）不忙，不忙，就要离开重庆了，让我多看看这些山！（老舍《归去来兮》）
- (107) 鞋小了点儿，可是多穿穿就会大的。
- (108) 放假多看看书，别到处瞎跑。
- (109) 他总喜欢多看看，多听听，不喜欢下车伊始哇啦哇啦地发议论。
- (110) 陈白露 这个地方不像话的事情多得很。这一次，我要请你多瞧瞧，把你这副古板眼镜打破了，多看看就像话了。（曹禺《日出》）

既にみたように、例文(105)の“多学学”という表現は“多学一学”とはいえない。もし“多学一学”に置き換えれば、その文は“不自然さ”を感じさせる。同じように、例(106)の“让我多看看这些山”という表現は“让我多看一看这些山”に変えることはできない。また例(107)～(110)までの各例文ではそれぞれの“多穿穿就会大的”という表現は“多穿一穿就会大的”と言いかえることはできない。“多看看书”という表現は“多看一看书”とはいえず、“他总喜欢多看看，多听听”という表現は“他总喜欢多看一看，多听一听”と表現することはできない。“我要请你多瞧瞧，……多看看就像话了。”という表現はもちろん“我要请你多瞧一瞧，……多看一看就像话了。”に変えてはいけない。

ちなみに、同じように二音節動詞の重ねた「ABAB」型の中にも“多”を入れることができる。すなわち「多ABAB」の形になれる。しかし、「多AB一AB」という表現はできない。次の二例を挙げよう。

- (111) 你看，八爷，银行现在不是在旅馆旁边又盖大丰大楼么？……为什么盖？……自然，也是繁荣市面，叫钱多活动活动的意思。你放心！（曹禺《日出》）
- (112) （肯定地）不！我不后悔，我毫不后悔多在这里住几天。你的话是对的。我应该多观察观察这一帮东西。现在我看清楚他们了，不过我还没有看清楚你，我不明白你为什么跟他们混？（曹禺《日出》）

I—2—3 ある場合には動詞の「AA」型の表現はよく複文の文の中で用いられる。すなわち、複文の後半部分の文句の中で表われる。そのときには、よく副詞“又”と連用し、「～又AA～」という形で表現され、“完了”の意味を示す。例えば、次のような例である。

- (113) 曾 霆（望望她，又摇摇头）不知道。（曹禺《北京人》）
- (114) “教导员！办成功啦！他们几家都争着要收下这个小姑娘哩。”说着，又摸摸小姑娘的头，拉拉小姑娘的手。（魏巍《谁是最可爱的人》）
- (115) 陈奶妈（回头瞥见小柱儿又闲不住手，开始摸那红木矮几上的茶壶，叱责地）小柱儿，你放下，你屁股又痒痒啦！（小柱儿又规规矩矩地放好，陈转对文清）也怪，姑老爷不是嚷嚷今天晚上就要搬出去么？怎么现在——（曹禺《北京人》）

例(113)からみると、“望望她，又摇摇头”の中では、“又摇摇头”という表現はもちろん動作者の動作行為の“完了”の意味を表す。もしも、その場合には“又摇摇头”の“摇摇”の間に“完了”の意味を表すため、どんな字をいれたらいいのかというと、やはり“一”よりも“了”のほうが更に適切である。すなわち“望望她，又摇一摇头”よりも“望望她，又摇了摇头”のほうが“完了”の意味を鮮明させ、もっとも適切な表現である。要するに言い換えると、“完了”を表すときの「～又AA～」という表現はもし「～又A了A～」という表現に変換してもだいたい問題がない。

同じように、例(114)の“～说着，又摸摸小姑娘的头，～”という表現はもし“～说着，又摸了摸小姑娘的头，～”という表現に変換しても結構である。当然、その意味も同じである。

また、ある複文の後半部分の文句の中で動詞の「AA」型表現の中ではよく副詞“再”と連用し、すなわち「～再AA～」という形で用いられ、“完了”の意味も表す。次の数例をみてみよう。

- (116) 夕阳黄昏本是美景，但是我当时的心情却无法欣赏它。寒风一阵阵吹过来，我看看自己单薄的衣服，再看看泡在稀泥里的荷西，再回望太阳，它像独眼怪人的大红眼睛，正要闭上了。(《百年百篇经典散文》p329)
- (117) 陈奶妈 (又得着一个机会和文清谈话) 嘻，清少爷，我再陪陪你。(曹禺《北京人》)
- (118) 鲁四凤 (气得只看父亲，忽然厌恶地) 爸，您看您那一脸的油，——您把老爷的鞋再擦擦吧。(曹禺《雷雨》)
- (119) 刘麻子 不能拉倒，咱们再想想！你们到底一共有多少块现大洋？(老舍《茶馆》)
- (120) 可是，我的顾八奶奶，谈“三从四德”你总得再坐一次花轿，跟胡四龙呀凤呀地规规矩矩地再配配才成呀！(曹禺《日出》)
- (121) 曾皓 (闭着眼) 再来给我捶捶。(曹禺《北京人》)
- (122) 曾皓 (对着曾家第三代人，期望的口气) 这次棺木保住了，房子也不要卖，明年开了春，我为你们再出门跑跑看，为着你们的儿女我再当一次牛马！(用手帕擦着眼角) 唉，只要祖先保佑我身体好，你们诚心诚意地为我祷告吧！(向书斋走)(曹禺《北京人》)

もちろん、例(116)～(122)までの各例文の“再看看”、“再陪陪”、“再擦擦吧”、“再想想”、“再配配”、“再来给我捶捶”、“再出门跑跑看”などの表現はみんな“完了”の意味を表すはずである。

I-2-4 ある場合には、文の中では動詞の「AA」型と「A-A」型という表現は一文のなかで、よく併列して用いられ、強調の意味を表す場面が多い。当然、その場合には文の前半と後半の対応がはっきりとしている場合のなかでよくみられる。すなわち、文の構造からみると、一般的に文の前半部分には、自由・随意という動詞の「AA」型を用い、文の後半部分にはまじめ・丁寧・真剣という動詞の「A-A」型の表現がよく用いられる。例えば、次の二例もその通りである。

- (123) 你们去看看，一定要亲自去看一看现场。

(124) 你去查查，一定要去查一查。

I—2—5 ある場合には文の中では動詞の「AA」型、または「A—A」型の表現はそれぞれの文末の所によく移動・方向を表す動詞“去”をつけ、併用される。しかし、文の構造からみると、動詞“去”は動詞の「AA」型、或いは「A—A」型の表現によって文末に置けるか否かそれぞれに異なる。次の実例を挙げてみよう。

(125) 周秀花 一点白面也没有！我看看去，给她作点杂合面疙瘩汤吧！  
(老舍《茶馆》)

例(125)の“我看看去”という表現はもし“我去看看”に変えても可能である。すなわち、動詞“去”を“看看”の前に、或いは“看看”の後に置いてもよい。だが、

「去AA」という表現は → 「AA去」という表現に変換可能である。

ところが、次の「A—A」型の中では動詞“去”と連用される場合をみてみよう。

(126) 鲁侍萍 凤儿，你去，你去看一看。我心里有点怯，我有点走不动，你去！  
(曹禺《雷雨》)

例(126)の“你去看一看”という表現はもし“你看一看去”に変換すればその不自然さはすぐに感じられ、変換が不可能であることがわかる。すなわち、動詞“去”を“看一看”の前に置くのは可能である。しかし、動詞“去”を“看一看”の後に置いてはいけない。だが、

「去A—A」という表現は → 「A—A去」という表現に変換することは不可である。

このように、日常生活の中ではたくさんの用例がみられる。例えば、動詞の「AA去」という表現については、

(127) 曾思懿 陈奶妈，你到厨房看看去，赶快摆桌子开饭，今天老太爷正为着愫小姐请袁先生呢。(曹禺《北京人》)

(128) 陈奶妈 大概杜家老太爷已经断了气了，我瞧瞧去。(曹禺《北京人》)

(129) 鲁贵 (犹疑地)那我先给你问问去。(曹禺《雷雨》)

(130) 二德子 嘘！您说的对！我到后头坐坐去。李三，这儿的茶钱我候啦！(往后面走去)(老舍《茶馆》)

もちろん、例(127)～(130)までの各例文の中で、「AA去」という表現は「去AA」に変換することができる。すなわち、

例(127)の“你到厨房看看去” → “你到厨房去看看” (変換可)

例(128)の“我瞧瞧去” → “我去瞧瞧” (変換可)

例(129)の“那我先给你问问去” → “那我先给你去问问” (変換可)

例(130)の“我到后头去坐去” → “我到后头去坐坐”(変換可)

また、動詞の「去A-A」という表現については、次のような実例もある。

(131) 周朴园 繁漪, 我看你上楼去歇一歇吧。(曹禺《雷雨》)

もちろん、例(131)の“繁漪, 我看你上楼去歇一歇吧。”

→ “繁漪, 我看你上楼歇一歇去吧。”(変換不可)

以上述べてきたように、また動詞の「去AA」という表現は日常生活の中でよくみられる。次の数例をみてみよう。

(132) 周繁漪 你去看看, 二少爷在喊你。(曹禺《雷雨》)

(133) 那时是秋天, 半夜里二少爷忽然把我叫起来, 说客厅又闹鬼, 叫我一个人去看看。二少爷的脸发青, 我也直发毛。可是我是刚来的底下人, 少爷说了, 我怎么好不去呢?(曹禺《雷雨》)

(134) 好, 你们好好地谈吧, 我要到那屋子去看看就回来。(曹禺《日出》)

(135) 李五爷, 方科长, 刘四爷都来过。潘经理看了您三趟。还有顾家八奶奶来了电话说请您明天——嗯, 今天晚上到她公馆去玩玩。(曹禺《日出》)

当然、例(132)～(134)までの各例文の中では“去看看”という表現は“看看去”という表現に変えることも可能である。また例(135)の“今天晚上到她公馆去玩玩”という表現は、“今天晚上到她公馆玩玩去”に変えることも可能である。

## II. 動詞の「A了A」型と「A了一A」型の語用的比較

一般的に言えば、ふつう文の中では動詞の「A了A」型と「A了一A」型にすることによって表される“完了(已然)”という意味がほとんどの場合は同じである。すなわち、重ねられた動詞の間に数詞“一”を入れるか否かはどちらでもよく、その意味は変わらない。しかし、語用の面から考えて見ると、あらゆる動詞の「A了A」型と「A了一A」型という表現は両者がつねに自由に変換できるわけではない。すなわち、文の中では具体的なコンテキストなどの影響により、それぞれに異なる。以下、両者の違いについて、何点か考察してみた。

II-1 日常生活の中では、動詞の「A了A」型は主に完了した状況のなかでの動作行為の継続時間の短さ、または動作行為の反復回数の多さなどがよく含意された表現である。次の数例をみてみよう。

(136) 我猛然一惊。稍微清醒了些。老金很敏捷地掏出了驳壳枪, 往山头上望了望; 然后, 在我耳朵边轻轻地说: “有敌人。”(魏巍《谁是最可爱的人》)

(137) 他几乎带着恼怒地说: “胡说!” 说着, 就站起来, 四面望了望, 马上把驳壳枪往腰里一插, 不由分说地就把我背起来。不知道从哪里来的一股精神。(魏巍《谁是最可爱的人》)

(138) 他停了停, 又说: “这是为甚么呢? 这是因为我们已经摸熟了敌人的脾气, 有了

- 思想准备了。”（魏巍《谁是最可爱的人》）
- (139) 说到这里，他稍停了停，他的年轻的眼睛带着痛苦的表情，似乎又回到当时的情景。（魏巍《谁是最可爱的人》）
- (140) 文彩在屋内的声音：（同时捶门）开门！开门！  
〔思懿拿着曾皓方才拿出过的红面存折，气愤愤地由书斋小门急上，望了望曾皓，就走到文彩的卧室前开门。（曹禺《北京人》）
- (141) 陈白露（左右前后看了看里面一个美丽的妇人，又慢慢正对着镜子，摇摇头，叹气，凄然地）生得不算太难看吧。（停一下）人不算得太老吧。可是……  
（曹禺《日出》）
- (142) 丁影秋 并不然，伯父！我找了个行家看了看，他说那张画值好多钱。（老舍《归去来兮》）
- (143) 班里的同志们争着拿起枪来，班长也拿起了一支，枪上面结满了霜花。他用衣袖拭了拭，朝着敌人的方向，乒乒打了几枪。（魏巍《谁是最可爱的人》）
- (144) 小姑娘又最后地跑上去跟营长、教导员、还有许多战士们握了握手。等队伍走出好远，她还站在一块高坡上，用她那响亮清脆的声音喊着：“叔叔，再见吧！叔叔，再见吧！……”（魏巍《谁是最可爱的人》）
- (145) 我也不知道自己的身上着了火没有，我也不管它了，只是在地上乱摸。先摸着一个大成人，拉了拉没拉动；又向大人的身后摸，才摸着小孩的腿，我就一把抓着抱起来，跳出门去。（魏巍《谁是最可爱的人》）

以上みたように例(136)～(140)までの各例文中では各動作者の動作行為の継続時間の短さがよくみられる。例えば、各文のポイントからみると、例(136)の動作者(老金)は“老金很敏捷地掏出驳壳枪，往山头上望了望……”。また例(137)の動作者(他)は“他几乎带着恼怒地说：“胡说！”说着，就站起来，四面望了望……”。また例(138)の動作者(他)は“他停了停，又说：“这是为甚么呢？这是因为我们已经摸熟了敌人地脾气……”。例(139)の動作者(他)は“说到这里，他稍停了停……”と表現されているが、例(138)、(139)二例とも“停了停”という表現によって時間の短さが感じられる。同じように、例(140)の動作者(思懿)は“思懿拿着曾皓方才拿出过的红面存折，气愤愤地由书斋小门急上，望了望曾皓，就走到文彩的卧室前开门。”という表現にも完了した状況のなかでの動作行為の継続時間の短さが含意されている。

ところが、例(141)～(145)までの各例文中では各動作者の動作行為の反復回数の多さがよくみられる。各文のポイントからみると、例(141)の動作者(陈白露)は“左右前后看了看里面一个美丽的妇人，又慢慢正对着镜子……”。次に例(142)の動作者(丁影秋)は“……伯父！我找了个行家看了看，他说那张画值好多钱……”。また例(143)の動作者(班长)は“……枪上面结满了霜花。他用衣袖拭了拭……”。また例(144)の動作者(小姑娘)は“小姑娘又最后地跑上去跟营长、教导员、还有许多战士们握了握手……”。同じように、例(145)の動作者(我)は“……我也不管它了，只是在地上乱摸。先摸着一个大成人，拉了拉没拉动；又向大人的身后摸，才摸着小孩的腿……”という表現になっている。

II-2 ある場合に、文の中では動詞の「A了A」型によって表されたいくつかの動作行為が随意に連用される場合にもよく用いられる。例えば、次の三例もその例である。当然、三例とも完了した状況の中での動作者の短い時間の間での複数の動作行為が表わされている。この場合ではふつう、

動詞の「A了A」型の表現は文の中では使わない傾向がみられる。

- (146) 我看了看那很直很直的稻垅子，又望了望那几个插秧的朝鲜妇女：有两个弯着腰，一个正往田埂上走，大概是去取稻秧。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (147) 参谋把地图拿来，他亲手铺在地上，把凳子向前移了移，望了望政治委员又望着我说：“来！我先把这个战斗的具体部署讲一下，等会儿我还要开炮兵会议。”(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (148) 他把脸扭过来，看了看我们说：“家常便饭啦！”说着，又要去刨。我敬了他一支烟，握了握他的手，只觉着他的手面上疙疙瘩瘩的，仔细一看，上面有三四个紫葡萄似的血泡。还有一个破了的，浸着血。(魏巍《谁是最可爱的人》)

II-3 ある場合に、文の中では動詞「A了A」型の表現は、完了した状況のなかでのその気軽さ、簡潔さ、自由さなどの雰囲気がよく感じる表現である。以下の数例はその通りである。

- (149) 他把烟在松木“明子”上燃着，抽了一口，笑了笑，幽默地说：“不要紧，一门榴弹‘泡’也没有，都是小六〇‘泡’！”(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (150) 我记得他说过他要“感化”白露，白露笑了笑，没有理他。现在他的想象又燃烧起来，他要做点事业，要改造世界，独力把太阳唤出来，难道我们就轻易相信这个呆子么？(曹禺《日出》)
- (151) 小通讯员很为他的“指挥”胜利而得意，卖弄了一个鬼脸；一边掏出手巾擦汗，一边又向我们笑了笑，两个小酒窝儿又露出来了。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (152) 排在火盆里小心地点着，抽了一口，就递到王淑金的手里，又拍了拍他的肩膀，咕咕嘎嘎地笑着走了。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (153) (发表现自己的慷慨)我这个人最爽快不过，半夜里，我就把从前带到曾家的首饰翻了翻，也巧，一翻就把我那副最好的珠子翻出来，这就算是我替文清给恻表妹下的定。(曹禺《北京人》)

以上みたように、各例文のポイントからみると、例えば、例(149)の動作者は“他把烟在松木“明子”上燃着，抽了一口，笑了笑，幽默地说：“不要紧”……”という表現の中で、その文中の“笑了笑”によって“幽默地说：“不要紧”……”という“気軽さ”がすぐ感じる表現である。また例(150)の中では“……他要“感化”白露，白露笑了笑，没有理他……”という表現の中では、文中の“笑了笑”によって“没有理他”という“簡潔さ”がすぐ感じられる。また例(151)の動作者(小通讯员)は“……卖弄了一个鬼脸，一边掏出手巾擦汗，一边又向我们笑了笑，两个小酒窝儿又露出来了”という表現から“気軽さ”、“自由さ”などがはつきり分かるようにはずである。同じように、例(152)の動作者(排长)は“……点着，抽了一口，就递到王淑金的手里，又拍了拍他的肩膀，咕咕嘎嘎地笑着走了。”また例(153)の動作者(我)は“……我就把从前带到曾家的首饰翻了翻，也巧，一翻就把我那副最好的珠子翻出来……”。これら二例文でも“気軽さ”、“簡潔さ”、随意的雰囲気がよく感じられるだろう。要するに、その場合では、ふつう動詞の「A了A」型の表現が以上の各例文の中では使わない傾向がある。

II-4 ある場合に、文の中では動詞の「A了A」型の表現は完了した状況のなかでその“真面目

さ”、真剣な態度などもよく感じられる。例えば、

- (154) 他想了想，他说“再看吧”，看神气仿佛还免不了有变故。（曹禺《日出》）
- (155) “敌人才觉得离我们近了实在没有甚么好处，这才往后缩了缩：一方面加强坦克的活动，一方面添设了多到十几道的铁丝网，还遍设了地雷、跳雷、挂雷、照明雷等等的地雷阵，让这些法宝去保护他。”（巍巍《谁是最可爱的人》）
- (156) 我问他：“你不觉得苦吗？”他把正送往嘴里的一勺雪收回来，笑了笑，说：“怎么能不觉得？咱们革命军队又不是个怪物。不过咱们的光荣也就在这里。”（巍巍《谁是最可爱的人》）
- (157) 陈奶妈（长长地嘘出一口气，四面望了望，提起袖口擦抹一下眼角，走到方凳子前坐下，迎着黄昏的一点微光，默默地纳起鞋底）（曹禺《北京人》）

以上述べたように、各例文のポイントからみると、例えば、例（154）の動作者は“他想了想，他说“再看吧”，看神气仿佛还免不了有变故。”という表現のなかから彼が真剣に問題を考えている真面目さがすぐ感じられる。また例（155）の動作者（敌人）は“敌人才觉得离我们近了实在没有甚么好处，这才往后缩了缩，一方面加强坦克的活动，一方面添设了多到十几道的铁丝网，还遍设了地雷、跳雷……等等的地雷阵，……去保护他。”という表現から、敵が自分の防衛のため、一生懸命にいろんな準備をしている様子がよく分かるようになる。同じように、例（156）、（157）の中では“笑了笑”、“望了望”という表現によって二例とも、文中に生き生きと再現する真剣な態度、真面目さなどがよくみえる。

また、その“真面目さ”を含意する動詞「A了A」表現と同じように、動詞の「A了A〇」という形の表現も非常に多くみられる。次の数例もその通りである。

- (158) 那朝鲜少女微笑着征询似地望着她的母亲，朝鲜妈妈很严肃地点了点头。这时候，小孩儿已经在他姐姐的肘弯儿里睡着了，嘴角里流露着甜蜜蜜的笑容。（巍巍《谁是最可爱的人》）
- (159) “怎么办？反正够不够就是它！”他掂了掂手里的那条小米袋，又说，“小李！假若你是这个司务长，看你的锦囊妙计吧。”（巍巍《谁是最可爱的人》）
- (160) 我望了望脚下的这块阵地上，这是多少双带着血茧的手，一镐一镐挖出来的阵地呵！正是这块阵地，这一块连一块的奇迹般的地下长城，使得具有优势装备的数十万侵略暴徒不能前进一步，惊惧在我们的战威之下。（巍巍《谁是最可爱的人》）
- (161) 他又指了指狭小潮湿的防空洞说，“再比如蹲防空洞吧，多憋闷得慌哩，眼看着外面好好的太阳不能晒，光光的马路不能走……”（巍巍《谁是最可爱的人》）
- (162) 我摸了摸他的头，他的脸，粘津津的，头发也湿漉漉的。我知道他流了血。（巍巍《谁是最可爱的人》）

ところが、またある場合に、文の中では動詞の「A了A」型の表現によって完了した状況のなかで動作者の行為の気軽、簡潔、自由などが表現されるとともに、その真面目、真剣さもよく感じられる。次の一例がそれである。

- (163) 连长笑了笑说：“小姑娘！你跟我们走干甚么去呀？”（巍巍《谁是最可爱的人》）

II-5 一方では、日常生活の中では動詞の「A了A」型表現にも、発生する動作行為が表現されたが、動詞の「A了A」型の表現からも継続時間の長さ、動きの緩慢さ、話しぶりの緩やかさ、さらには、事物に対する沈着さ、冷静さ、厳しさ、または言動の慎重さなどのさまざまな含意の差異が感じられる。以下、具体的な事例をみてみよう。

- (164) 王志成在星光下笑了一笑，点了点头。他们就是这么沉着，一点也不慌乱，一会儿看看前头，一会儿听听后面。这时，敌人的炮，已经向阵地的后方，打得更远更远了。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (165) 两个人把手榴弹盖咬开，把子弹也摸了一摸，顺着山坡走了下去。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (166) 房子前面的打谷场上，有一个须发斑白的老汉，光着膀子，赤着两只脚正在打场。看见我们，用老花眼望了一望，点了点头，又继续打。门里边，一个妇女背着一个小孩正在切菜，还有一个十二三岁的女孩，穿着已经破了的海军式制服，正在看书。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (167) 小姨望了他一眼，用手指指楼下，这小孩子懂事，恐怕下面知道，赶忙把自己手掌掩到自己的嘴唇，望望小姨，摇了摇那颗小小的头颅，意思好像在说：“莫说，莫说。”(《沈从文小说选》(上)p501)
- (168) 他笑了一笑，接着严肃地回答：“同志，我能含糊么？你想想，自打过了鸭绿江的那天起，我们看到的都是些甚么！”接着，他就叙说起从鸭绿江到汉江，他们走过的不是一片片焦土，就是一片片大火，有时候就在两边烧着大火的街道上穿过，或者是在被杀死的朝鲜人的身边宿营。(魏巍《谁是最可爱的人》)
- (169) 我笑说：“我们几经迁徙，都是‘身无余物’了，你还在保存收集这许多东西，真是使人羡慕。”他笑了一笑说：“这是我的脾气，一辈子也改不了！”(《冰心作品精选》p242)
- (170) 没有意义的坚守和消耗，我们是不会进行的。你们都清楚，我们一定要守到那一天。停了一停，又说：“还要告诉同志们，有飞机大炮才能战胜敌人算甚么本事呢？从革命的历史来看，反革命的武器总是比我们好得多；然而失败的总是他们，而不是我们。”(魏巍《谁是最可爱的人》)

以上みてきたように、各例文のポイントからみると、例えば、例(164)の動作者(王志成または他们)は“王志成在星光下笑了一笑，点了点头。他们就是这么沉着，一点也不慌张，一会儿看看前头，一会儿听听后面。……”という表現の中で、その文中の“沈着さ”、“冷静さ”が生き生きと感じられるようになった。また例(165)では“两个人把手榴弹盖咬开，把子弹也摸了一摸，顺着山坡走了下去。”という表現は主人公ふたりがその“把子弹也摸了一摸”という様子によって、文中の“冷静さ”または“沈着”などが感じされたはずである。また例(166)の動作者(老汉)は“……有一个须发斑白的老汉，……看见我们，用老花眼望了一望，点了点头，又继续打。……”という表現の中での“望了一望，点了点头”の動きによって主人公老汉の“沈着さ”も窺えるようになる。また例(167)の動作者(小孩)は“……这小孩子懂事，恐怕下面知道，赶忙……望望小姨，摇了摇那颗小小的头颅，意思好像在说：“莫说，莫说。”という表現の中で主人公小孩(子供)にも大人と同じようにその“沈着さ”の様子・表情などが感じら

れるようになる。

次に、例(168)では“他笑了一笑，接着严肃地回答：“同志，我能含糊么？你想想……接着，他就叙说起鸭绿江到汉江……”という表現の中では主人公は過去の事情を厳しく陳述する様態がよく感じられるようになる。

次に、例(169)では“……他笑了一笑说：“这是我的脾气，一辈子也改不了！”という表現では主人公“笑了一笑”という表情によってその言動のまじめさ、または慎重さがすぐに感じられる。同じように、例(170)では“没有意思的坚守和消耗，我们是不会进行的。你们都清楚，我们一定要守到那一天。”停了一停，又说……反革命的武器总是比我们好得多；然而失败的总是他们，而不是我们。”という表現からその文中の沈着さ、冷静さ、厳しさ、または言動の慎重さなどを感ぜられる。

II-6 ちなみに、ある場合には動詞の「A了A」型の表現の中では副詞“又”をよく用いられる。すなわち「A了又A」という形で、動詞の「A了A」型よりもっと説明する必要が表わされ、強調ということも含意されている。次の二例を挙げてみよう。

(171) 慷方……(回忆)他说他要成一个人，死也不再回来。(感动得不能自止地说下去)他说他对不起他的父亲，他的儿子，连你他都提了又提。他要我照护你们，看守他的家，他的字画，他的鸽子，他说着说着就哭起来，他还说他最放心不下的是一一(泪珠早已落下，却又忍不住笑起来)瑞贞，他还像个孩子，哪像个连儿媳妇都有的人哪！(曹禺《北京人》)

(172) 王淑芬正和李三忙着布置，把桌椅移了又移，摆了又摆，以期尽善尽美。(老舍《茶馆》)

以上みたように二例文のポイントからみると、例えば、例(171)の動作者は“……(感动得不能自止地说下去)他说他对不起他的父亲，他的儿子，连你他都提了又提。他要我照护你们，看守他的家，他的字画……”という表現の中では、もちろん文中の「提了又提」という表現のほうが「提了一提」表現よりも高次の程度の深さが表わされていることを感じさせられたはずである。また例(172)の動作者(王氏と李氏)は“王淑芬正和李三忙着布置，把桌椅移了又移，摆了又摆，以期尽善尽美。”という表現の中では当然、文中の“把桌椅移了又移，摆了又摆”という表現のほうがふつう完了した状況での“把桌椅移了一下，摆了一下”という表現よりも雰囲気はずいぶん違い、二人が部屋を飾りつけるときのまじめさ、または忙しさなどがよく鮮明に描かれていることを、感じたはずである。

要するに、以上述べてきたように全体からまとめてみると、日常生活の中で、特に完了した状況での動詞「A了A」型表現より「A了又A」型表現のほうが多く用いられる。また表れた程度の深さからみると、動詞の「A了又A」型がもっとも強く、つぎが「A了一A」型、そしてもっとも弱い表現は「A了A」であるということが言えるのではないかと考えられる。

## ◎ 主な参考文献

- 『实用現代漢語語法』(増訂本) 劉月華・潘文娛等著 商務印書館 2002  
『語法講義』 朱德熙著 商務印書館 1982  
『現代漢語動詞』 李臨定著 中国社会科学院 1987  
『漢語動詞用法詞典』 孟琮・鄭懷德著 商務印書館 1999  
『現代漢語八百詞』 呂叔湘主編 商務印書館 1991  
『实用漢語語法』 房玉清著 北京大学出版 2001  
『漢語語法三百問』 邢福義著 商務印書館 2003  
「略論漢語動詞的重疊」『中山大學學報』 1962(第1期)  
「試論所謂“動詞重疊”」 範方蓮『中国語文』 1964(第4期)  
「動詞重疊の表達效能及可重疊動詞的範圍」 劉月華『中国語文』 1991(第6期)  
『中国語における「重ね型」表現の構造形式及び語用に関する考察と研究——動詞の「重ね型」をめぐって(その1)』 于克勤 本学『研究紀要』 2004(第33集)

## ◎ 主な引用書目

- 『曹禺選集・「北京人」』 曹禺著 人民文学出版社 2002  
『曹禺選集・「雷雨」』 曹禺著 人民文学出版社 2002  
『曹禺選集・「日出」』 曹禺著 人民文学出版社 2002  
『老舍劇作・「茶館」』 傅光明選編 浙江文艺出版社 2003  
『老舍劇作・「归去来兮」』 傅光明選編 浙江文艺出版社 2003  
『誰是最可愛的人』 魏巍著 人民文学出版社 1978  
『沈从文小説選』 人民文学出版社 1993  
『冰心作品選集』 金宏宇選編 長江文艺出版社 2003  
『百年百篇經典散文(1901~2000)』 王劍冰主編 長江文艺出版社 2002

〈付記〉本研究は平成16年度本学特定研究助成による成果の一部である。